

# ワールド・イシュー（観光とグローバリゼーション）（2・3・4年次）

## 【科目の趣旨】

この科目はヒューマン・イシューと共に、他の専門科目では十分に扱うことの出来ない特定のテーマを詳しく学ぶために置かれている。少人数のゼミ形式で行われ、テーマの異なる複数クラスが、随時開講される。ワールド・イシューでは、民族紛争、難民、テロリズム、経済危機、環境破壊など、現代世界に起こるさまざまな事件・問題から、特定のテーマを選び、学習する。動きの激しい現代の国際関係・国際社会の中で、時代状況に即応した知識を身に付けることを目的とする（記載内容は学部共通）。

## 【授業の内容】

テーマ：観光とグローバリゼーション。

内容：「観光」という切り口からグローバル化とローカル化の交錯する現代世界を読み解くことを目指す。「観光人類学」、「観光社会学」という視点から問題にアプローチする。国際観光客が増加の一途をたどり、観光業が21世紀の主要産業に成りつつある状況で、観光は、観光人類学者が主張するように、新たな文化の生成と関わりをもつ大きな存在になり、また、観光社会学者が説くように、日常生活の観光化が進みつつある現在、観光現象を論じることを抜きにして現代社会を論じることは難しくなっている。

そこで、観光研究の分野で国際的に最も権威のある学会誌、*Annals of Tourism Research* 掲載論文の中から、上記のテーマに密接に関連する最新の論文で、できる限り読みやすく、かつ、予備知識もそれほど必要なく読めるもの（たとえば、テキスト候補、 ）を選んで読むことにしたい。なお、いずれのコース(志望)の学生も履修可能である。

## 【授業方法】

科目の趣旨に記されているように、少人数のゼミ形式で行う。クラスを二つのグループA、Bに分けて、報告(テキストの内容を要約したレジュメ作成)、予定討論(質問を準備する)を順番に担当する形で進めていく。

## 【授業計画】

1. 導入。グループ分け。
2. 報告Aグループ。
3. 報告Bグループ。
4. 論文関連の観光その他のDVDをみる。
5. 報告Aグループ。
6. 報告Bグループ。
7. 論文関連の観光その他のDVDをみる。
8. 報告Aグループ。
9. 報告Bグループ。
10. 論文関連の観光その他のDVDをみる。
11. 報告Aグループ。
12. 報告Bグループ。
13. まとめ。レポート提出。

## 【教科書・指定図書】

テキストの候補：

Salazar, Noel B. "Tourism and Glocalization: 'Local' Tour Guiding," *Annals of Tourism Research*, Vol. 32, No.3 (2005), pp. 628-646.

Hampton, Mark P. "Heritage, Local Communities and Economic Development," *Annals of Tourism Research*, Vol.32, No.3 (2005), pp.735-759.

なお、論文のとも、本学図書館からオンライン検索で現物を入手できる。

参考文献：

山下晋司編『観光人類学』新曜社、1996年。

須藤廣・進藤英樹『観光社会学～ツーリズム研究の冒険的試み』明石書店、2005年。

岡本信之編『観光学入門～ポスト・マス・ツーリズムツーリズムの観光学』有斐閣、2001年。